

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年10週 (3月2週 3/6~3/12)

2017年2月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、結核、麻しん・風しん混合ワクチン、肺炎球菌感染症(高齢者)の予防接種

### 定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(22)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、E型肝炎(1)、レジオネラ症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(3)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性髄膜炎菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(5)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(8)

2017年2月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
3月9日	瀬戸、新城	集団かぜの発生について(2016-2017シーズン) <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influyuudankaze2.html">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influyuudankaze2.html</a> <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influchiran.pdf">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influchiran.pdf</a>
3月10日	知多	
3月13日	瀬戸、西尾、衣浦東部	
3月14日	衣浦東部	

### インフルエンザ(図1)【1月11日警報発令】

10週の定点当たり報告数は10.92、9週2,875人、10週2,129人(0.74倍)です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を発令します!(1月11日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/28influkeihou.html>

名古屋市:名古屋市内でインフルエンザ患者の報告数が急増しています!(2月1日発表)

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000055797.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

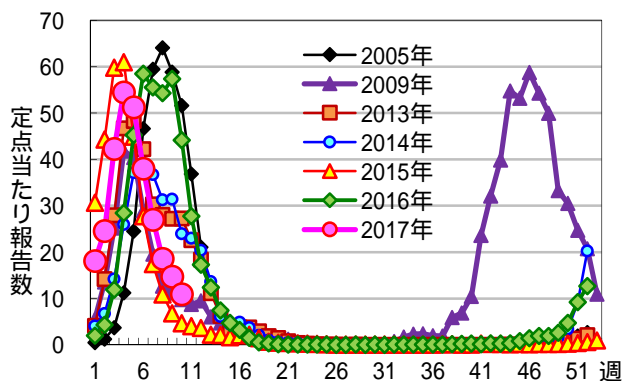


図1 インフルエンザ

### 結核(図2、P6,2月報参照)

2017年10週までの累積報告数は、3月15日現在248件(うち無症状病原体保有者は72件)です。

2016年10週までの累積報告数は328件(同77件)、2016年総計は1,742件(同446件)で、2015年総計1,683件(同463件)から59件増加しました。

### 麻しん・風しん混合(MR)ワクチンについて

麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの平成28年度の第2期対象者(平成22年4月2日~平成23年4月1日生まれ)は平成29年3月31日までが期限です。すみやかに接種しましょう。

【参考ページ】麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

### 肺炎球菌感染症(高齢者)の予防接種について

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。平成29年3月31日が定期接種の期限となっている方は、平成28年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方です。詳しくは参考ページをご覧ください。

【参考ページ】肺炎球菌感染症(高齢者)(厚生労働省)

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index\\_1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html)

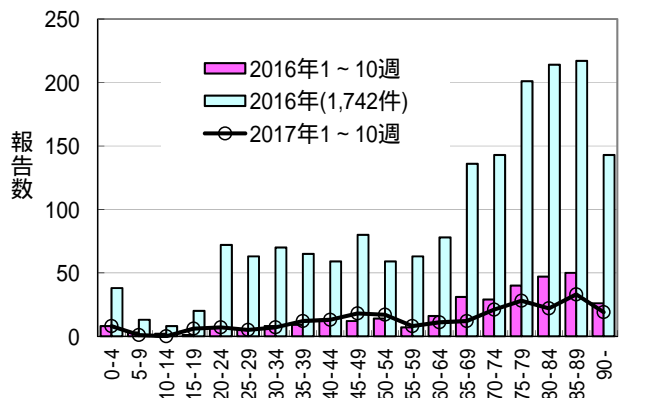


図2 結核の年齢階級別報告数

(愛知県、診断週集計、無症状病原体保有者含む)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

<p>8歳男 カンピロバクター腸炎 インフルエンザA型 8人 B型 6人 【一宮市 あさのこどもクリニック】 1歳男 ヒトメタニューモウイルス感染 インフルエンザ 12名 全例A型 【一宮市 後藤小児科医院】 インフルエンザA型 2名 B型 1名 【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】 感染性胃腸炎少し多いです。 インフルエンザA型 5名 【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】 インフルエンザ 3名(A型1名、B型2名) 感染性胃腸炎やや目立ちます。 【江南市 みやぐちこどもクリニック】</p>	<p>インフルA 11例 B 5例 溶連菌6例と増加 ヒトメタニューモ 14例 RS 1例 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】 インフルエンザA型 8名 【犬山市 安藤クリニック】 インフルエンザA 13名 インフルエンザB 1名 【北名古屋市 田中クリニック】 インフルエンザA 4名 【清須市 丹羽医院】 インフルエンザA型 6名 インフルエンザB型 0名 【津島市 医療法人参育会加藤医院】</p>
---	---

尾張東部地区

<p>インフルエンザA型3名、B型4名、ピークは過ぎたようです。 マイコプラズマ感染症が多くみられました。 アデノウイルス、溶連菌もみられます。 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】 インフルエンザA型 2例 インフルエンザB型 2例 【長久手市 医療法人水野内科】 fluはA、Bが半々です(小児科)。 インフルエンザ陽性報告12名(成人7名 小児5名、A型10名 B型2名) ロタもそれなりにあるようです。 【春日井市 春日井市民病院】 A型インフル 17例 B型インフル 5例 溶連菌、胃腸炎少々 【春日井市 朝宮こどもクリニック】</p>	<p>インフルエンザはかなり減少傾向です。 ヒトメタニューモウイルス感染が続いています。 【小牧市 志水こどもクリニック】 インフルエンザA型 16名 インフルエンザB型 1名 【半田市 医療法人林医院】 インフルエンザA型 9名 A型インフルエンザ漸減 感染性胃腸炎散発 【南知多町 医療法人大岩医院】 インフルエンザA型 7名 インフルエンザB型 1名 マイコプラズマ 4歳女 【大府市 まえはらこどもクリニック】 インフルエンザB型 1名 A型 9名 【東海市 もしもしこどもクリニック】 インフルエンザB型 10-14歳 男1名 10-14歳 女1名 【東海市 公立西知多総合病院】</p>
--	---

西三河地区

インフルエンザA(+) 21歳男  
インフルエンザB(+) 7歳女 8歳男  
StrepA(+) 4歳男  
カンピロバクター腸炎 14歳男  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
インフルエンザA型 12名 B型 8名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザ陽性A型 14名 B型 1名  
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】  
インフルエンザB型 5歳男 6歳女  
【豊田市 岩瀬小児科】  
ヒトメタニューモウイルス  
8か月1名 1歳1名  
2歳男2名 4歳男1名 4歳女2名  
インフルエンザA 28名 B 1名  
ヒトメタニューモ多いです。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
インフルエンザA型 7人  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
インフルエンザ計11名 全てA型  
【岡崎市 栗屋医院】  
インフルエンザA型 17名 B型 2名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

4歳男 病原性大腸菌O1  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
インフルエンザA型 21名  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】  
インフルエンザA型 18名  
【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザA型 30名 B型 4名  
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】  
インフルエンザはすべてA型  
【刈谷市 田和小児科医院】  
インフルエンザA型 2名  
インフルエンザB型 2名  
【安城市 医療法人鳥居医院】  
感染性胃腸炎が目立ちます。  
インフルエンザは減りましたが、まだみられます。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザA型 24名  
【西尾市 西尾市民病院】  
インフルエンザ今週は増加傾向でした。(32名、  
B型15歳女1名、当院では初めて)  
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザB型が少しでてきました。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザA型 10名  
【豊橋市 医療法人山本内科】  
インフルエンザA型 9名  
【豊橋市 医療法人杉浦内科】  
インフルエンザA型 3名  
【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザA型 66名  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザA型 17名  
インフルエンザB型 2名  
【豊川市 豊川市民病院】  
ヒトメタニューモ  
3歳男2名 1歳女1名 1歳男1名  
インフルエンザB型 7歳女 1名  
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】  
アデノウイルス 3名  
ロタウイルス 3名  
インフルエンザA型 22名  
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年3月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年10週報告数			2017年総計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体保 有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	2	2	98	23	28
豊田市				5	1	
豊橋市	1			15	3	8
岡崎市	1		1	6	1	1
一宮	3		2	22	10	7
瀬戸				16	2	8
半田				8	4	2
春日井	3	1	1	25	7	10
豊川				9	3	1
津島	1	1		13	2	3
西尾	1	1		4	2	
江南				6	1	1
新城						
知多	1	1		13	4	1
清須				2	1	1
衣浦東部				12	5	4
合計	22	6	6	254	69	75

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	岡崎市	19歳	男	3/5	3/5	3/7	O157、VT1(+) VT2(+)
2	春日井	1歳	女	2/22	2/24	3/10	O26、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

E型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	春日井	30歳	男	国内

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	一宮	65歳	男	肺炎型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	83歳	女	以前からの保菌	国内	無
2	江南	80歳	男	以前からの保菌	国内	無
3	知多	0歳	男	院内感染	国内	無
4	衣浦東部	77歳	男	手術部位感染	国内	無

急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	名古屋市	7歳	男	病原体不明	国内	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	名古屋市	63歳	男	国内		
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	38歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	44歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	知多	3歳	女	不明	国内	
侵襲性髄膜炎菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	共同生活	推定感染地域	
1	名古屋市	58歳	男	無	国内	
侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	名古屋市	76歳	男	不明	国内	
2	名古屋市	61歳	女	無	国内	
3	岡崎市	87歳	女	無	国内	
4	一宮	72歳	男	無	国内	
5	春日井	87歳	男	不明	国内	
水痘（入院例に限る。）（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	一宮	50歳	女	不明	国内	
梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	74歳	女	無症候	不明	国内
2	名古屋市	27歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	45歳	女	無症候	不明	国内
4	名古屋市	44歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	一宮	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	半田	42歳	女	無症候	性的接触	国内
7	江南	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	衣浦東部	26歳	男	早期顕症	性的接触	国内

## 2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [( )は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2017年2月			2017年	2016年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	67 (28)	45 (13)	112 (41)	200 (58)	1,741 (445)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	3 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (1)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	1	0	1	1	5
	A型肝炎	0	0	0	0	5
	オウム病	0	0	0	0	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	0	0	0	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	1	0	1	1	1
	レジオネラ症	3	2	5	8	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	2	2	4	7	68
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	5
	内訳 B型	0	0	0	0	4
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	2	2	4	11	76
	急性脳炎	4	1	5	10	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	3	6	26
	後天性免疫不全症候群	2	3	5	8	100
	内訳 無症候性キャリア	1	0	1	2	65
	内訳 AIDS	1	2	3	5	32
	内訳 その他	0	1	1	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	0	2	3	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	1	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	11	22	51	156
	水痘(入院例に限る。)	1	0	1	2	14
	梅毒	3	13	16	29	258
	内訳 無症候	0	4	4	6	69
	内訳 早期顕症	3	8	11	21	180
	内訳 晩期顕症	0	1	1	2	9
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	11
	破傷風	0	0	0	0	5
	風しん	0	0	0	0	20
	麻しん	0	1	1	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
	総 計	102	84	186	349	2,891

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2017年2月				2017年 累計		2016年 総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				愛知県全体 合計	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	24	37	61	133	234	905	1,555
		女	26	18	44	101	650		
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	3	11	25	71	231	633
		女	11	10	21	46	402		
尖圭コンジローマ	男	7	8	15	27	44	207	313	
	女	9	0	9	17	106			
淋菌感染症	男	5	20	25	64	74	483	554	
	女	6	2	8	10	71			
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		62	12	74	166		957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		9	0	9	22		102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。









# グラフ総覧

## 2017年10週(3月6日～3月12日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年10週までの定点当たり報告数のうち、  
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

\*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> \*ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

